

2 0 2 6 年 度

国立音楽大学 大学院 音楽研究科
(修 士 課 程)

学 生 募 集 要 項

追加募集

国立音楽大学 入試センター

〒190-8520 東京都立川市柏町 5-5-1

TEL 042-535-9536

<https://www.kunitachi.ac.jp/>

本学の基本的理念

自由、自主、自律の精神を以て良識ある音楽家、教育家を育成し、日本および世界の文化の発展に寄与する。

アドミッション・ポリシー

本課程は、以下のような人を入学者として受け入れる。

1. 本課程での学修に必要な知識や技能を有する人
2. これまでに修得した演奏・創作能力や研究能力をさらなる研鑽を通して向上させたいという意志をもつ人
3. 将来、日本や世界の幅広い分野で、音楽家や教育家として、あるいは音楽による社会活動を通して、社会に貢献する意欲のある人

カリキュラム・ポリシー

本課程は、演奏・創作における実践能力と理論の研鑽、あるいは音楽学や音楽教育学における研究能力の研鑽のために、下記の方針に従って、教育課程を編成・実施する。

1. 修士課程レベルでの音楽研究のために必要な基礎的な知識や方法を修得する
2. 専攻あるいはコースにおいては、高度な教育研究を行う
3. 声楽、器楽、創作担当教員と音楽学担当教員の連携によって、課題研究の指導を行う
4. 高等教育機関での指導法を修得する

ディプロマ・ポリシー

本課程は、下記の資質・能力を修得し、それらを総合的に活用できる人に、学位（修士）を与える。学生は所定の科目を修得するとともに、修士論文等（声楽・器楽・作曲の各専攻では修了演奏・修了作品と課題研究、音楽学・音楽教育学では修士論文）の審査および最終試験に合格しなければならない。

1. 音楽のみならず文化や芸術に関する、幅広い知識・学識を身につけている
2. 説得力ある演奏を行うことができる
3. 自己の創作理念・理論による創作ができる
4. 自己の演奏や創作について専門的な研究ができる
5. 音楽学ならびに音楽教育学の分野において専門的な研究ができる

目 次

1. 本学大学院（修士課程）の目的	2
2. 専攻別募集人員	2
3. 標準修業年限	2
4. 選別方法	2
5. 応募資格	2
6. 出願手続	3
7. 受験票印刷	5
8. 試験科目表	9
9. 試験科目概要および試験課題曲目	10
10. 試験実施期日（予定）および試験場	13
11. 合格発表	13
12. 入学手続	14
13. 長期履修制度について	14
14. 教育課程の概要	15
15. 学位および資格	21
16. 外国人留学生志願者注意事項	21
17. 教員組織	24

入学志願者への注意事項

1. 試験場等に変更が生じた場合は学内（本部棟北側掲示板）に掲示します。試験当日は必ず確認してください。
2. 試験内容に関する電話での問い合わせには応じません。
3. 試験当日の集合時刻を厳守してください。試験開始時刻に遅れた場合は受験資格を失います。
4. 時計のない試験場もあるので、時計（計時機能に限る）をお持ちください。なお、試験場および控室では、携帯電話・スマートフォン等の電源は切ってください。（時計として使用することも認めません。）
5. 提出すべき書類、作品などが指定された日時に遅れた場合は受け付けません。
6. 外国人留学生入学試験は、出願手続、試験科目等、一部別要項に基づいて実施されますので、志願者は「16. 外国人留学生志願者注意事項」（21ページ）を必ず確認してください。

個人情報の取扱いについて

出願にあたって入力・記入していただいた氏名・住所その他の個人情報は①出願・登録・選考、②学事および学生生活に関する管理、連絡および手続き、③本人および保証人宛に送付する各種書類の発送、連絡とこれらに付随する事務処理を行うために利用します。なお、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理いたします。

1. 本学大学院（修士課程）の目的

広い視野に立って精深な学識と技術を授け、音楽の専攻分野における創造、表現、研究能力またはこれに加えて高度の専門性が求められる職業等を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

2. 専攻別募集人員

専攻	コース	募集人員	専攻	コース	募集人員
声楽	オペラ	<u>募集なし</u>	作曲	作品創作	<u>募集なし</u>
	歌曲			音楽理論	
器楽	鍵盤楽器	若干名		ソルフェージュ	
	伴奏			音楽学	音楽学
	弦楽器		楽器・音響		
	管楽器		音楽療法		
	打楽器				
			音楽教育学		若干名

※鍵盤楽器は〔ピアノ、オルガン〕、弦楽器は〔ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ〕、管楽器は〔フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ〕を募集します。

※下記のコース間に限り第2志望の併願を認めます。

・器楽専攻鍵盤楽器（ピアノ）コースと伴奏コース

〈注意〉伴奏コース（声楽系）と伴奏コース（器楽系）は併願できません。伴奏コースの募集は声楽系・器楽系に分けて行い、入学後はそれぞれのカリキュラムを履修します。入学後の変更は認めません。

3. 標準修業年限

2年

※音楽教育学専攻は、長期履修制度あり（詳細はP.14 項目13.を参照のこと。）

4. 選 抜 方 法

入学者の選考は試験によって行います。

5. 応 募 資 格

- (1) 大学を卒業した者および大学院入学までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者および大学院入学までに授与される見込みの者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および大学院入学までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者。
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および大学院入学までに修了見込みの者。
- (5) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年文部省告示第5号）
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学までに22歳に達する者。

※応募資格(6)該当者については、入学資格審査を行いますので、事前に本学入試センターまでお問い合わせください。入学資格を認められた場合に限り、出願を認めます。

個別入学資格審査申請期間：2025年12月12日（金）まで

6. 出 願 手 続

(1) 出 願 期 間

Web出願登録期間：2026年1月8日（木）9時～1月14日（水）23時59分

入学検定料支払期間：2026年1月8日（木）9時～1月14日（水）23時59分

出 願 期 間：2026年1月8日（木）～1月14日（水）[消印有効]

※上記期間内の消印で郵送された書類のみ有効。速達簡易書留またはレターパックプラス（赤）で郵送してください。

※Web出願登録期間最終日である2026年1月14日（水）に出願登録した場合、入学検定料支払期限および出願書類有効消印日はいずれも2026年1月14日（水）までとなりますので注意してください。

(2) Web出願登録および入学検定料の納入

①Web出願登録

Web出願登録期間内に本学Webサイト (<https://www.kunitachi.ac.jp/>) (入学案内>大学院 入学案内>修士課程 [追加募集] >Web出願) から「Web出願サイト」にアクセスし、試験/専攻コース選択および個人情報登録等を済ませてください。

【Web出願に際しての注意】

- ・ Web出願登録時に入力いただくメールアドレスについて、原則、出願登録後の変更はできません。
- ・ 登録内容に誤りがある場合は、入学検定料を支払わずに最初から登録し直してください。
- ・ 入力する氏名は、原則戸籍と同一の氏名にしてください。ただし、漢字等で入力できない文字については、代替の漢字（なければカナ文字）を入力してください。

【顔写真について】

正面、上半身、脱帽、背景なし、カラー（白黒は不可）、JPG形式（データサイズ5MB以下）、出願期間から数えて3ヶ月以内に撮影した、受験用にふさわしいものをご用意ください。提出された写真は合格後学生証に使用しますので、以下のような写真は避けてください。出願登録後の変更はできません。

- 1) プリントされた写真をスマートフォン等で撮影（複写）したもの
- 2) 不鮮明なもの
- 3) メガネのレンズに光りが反射したもの
- 4) 前髪が長すぎて目元がみえないもの
- 5) 頭部が切れてしまっているもの
- 6) 画面に占める顔の割合が極端に小さいもの
- 7) 風景、カーテン等を背景にしたもの
- 8) その他、容易に人物が特定できないもの

②入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、①Web出願登録が完了してから行ってください。

● 入学検定料

修士課程 42,000円

修士課程 外国人留学生入試 50,000円

※入学検定料の他に別途手数料が必要となります。

※第2志望を併願する場合の追加検定料はありません。

● 入学検定料支払期間 2026年1月8日（木）9時～1月14日（水）23時59分

● 支払方法

☞ コンビニエンスストア（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア）

☞ クレジットカード

☞ 郵便局・銀行 ATM（Pay-easy 対応 ATM）

※入学検定料の金額と支払方法によって手数料が異なります。

※いったん納入された入学検定料は返還いたしません。

①②の手順

- (1) 「Web出願サイト」にアクセスする。
- (2) 【出願登録】入力画面に沿って入力、登録を進める。
 - ・志望する試験種別を選択する
 - ・志望する専攻（コース）等を選択する
 - ・個人情報等を入力する
 - ※受信確認メールが届くことを確認する
 - ※顔写真データ（カラーに限る）を用意し、画面の指示に従いアップロードする
- (3) 登録内容確認画面において、入力した内容をよく確認し、誤りがないことを確認した上で登録を確定する。
- (4) 入学検定料の決済を行う。
 - ※登録したメールアドレスに出願登録案内メールおよび支払完了メール（クレジットカード決済の場合は支払完了メールのみ）が届くことを確認する
- (5) 登録が完了すると「マイページ」へのアクセスが可能となり、各種書類ダウンロードや宛名ラベルの印刷が可能となる。

③出願書類の郵送

出願書類は原則郵送となります。（大学の窓口では受け付けません。）

入学検定料の支払い完了後、「マイページ」から宛名ラベルを印刷、および本学Webサイトから必要書類を印刷し、市販の角2封筒に宛名ラベルを貼付の上、出願する専攻（コース）等に応じたすべての出願書類を封筒に入れ*、速達簡易書留またはレターパックプラス（赤）で郵送してください。（消印有効。）

レターパックプラスを利用する場合は、上記*をレターパックへ封入し、オモテ面の宛名等は各自で記入してください。

● 出願先

〒190-8520 東京都立川市柏町5-5-1

国立音楽大学 入試センター TEL 042-535-9536（直通）

(3) 出 願 書 類

出願に必要な書類等は次ページのとおりです。不備があると受験できなくなりますので注意してください。

「本学所定用紙」は本学Webサイト（入学案内＞大学院 入学案内＞修士課程〔追加募集〕）からダウンロードしてください。

必要書類等	様式	書類記入要領及び注意
1. 志願票	—	志願票は入学検定料の決済後、「マイページ」から印刷できるようになります。必ずカラープリンターで印刷してください。（白黒印刷不可。）
2. 成績証明書	出身大学等 発行のもの	大学等に在学中の者は、前年度までの成績証明書を提出する。合格した場合、卒業時の成績証明書を2026年3月23日(月)までに提出する。 ※本学卒業生は2026年1月9日(金)までに教務課に請求すること。
3. 卒業（見込）証明書		本学学部卒業見込みの者は不要。 ※本学卒業生は2026年1月9日(金)までに教務課に請求すること。
4. 応募許可書	様式自由	現に公職、会社等に服務義務のある者は所属長の応募許可書を必ず添える。なお、事情により発行できない場合は、理由書（様式自由、志願者本人作成）を提出すること。
5. ピアノ受験曲目届	本学所定用紙	器楽専攻鍵盤楽器（ピアノ）コースと伴奏コースのみ提出。
6. 弦管打楽器受験曲目届	本学所定用紙	器楽専攻（弦楽器・管楽器・打楽器コース）のみ提出。
7. 長期履修申請書	本学所定用紙	長期履修制度の利用を希望する者は、Web出願登録時に提出の有無を選択した上で、申請書を提出すること。（P.14参照）

※2、3、4の書類について、日本語以外で書かれている場合は、日本語訳（書式自由）を添えてください。

《その他の注意》

- ①各提出書類の記入は楷書とし、はっきりとわかりやすく書いてください（消せるボールペンは不可）。
- ②各提出書類に入力・記入する氏名、生年月日は、戸籍と同一のものとしてください。（通称名、呼称は使用できません。）婚姻等により出願書類と各種証明書の氏名が異なる場合は、同一人であることを証明する戸籍抄本等の公文書を添付してください。
- ③出願期間外のものは受付できません。また、提出書類に不備があった場合にも、受付できないことがあるので注意してください。
- ④本人の申出による、出願後の書類の変更・追加・返却には一切応じられません。
- ⑤本学学部を卒業した方は、2026年1月9日（金）までに必要書類の作成を教務課に申し込んでください。（冬季事務取扱休止期間に注意してください。）
- ⑥身体に障害等があり、受験に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願前に早めに入試センター（042-535-9536）へ申し出て相談してください。

◎入試成績概要の送付

不合格者にはWeb出願登録時に入力いただいた住所に入試成績概要を送付します。

7. 受 験 票 印 刷

受験票は、出願受理後「マイページ」より、2026年1月23日（金）午前9時から印刷できるようになります。各自でA4サイズのコピー用紙（白色）にカラー印刷（白黒印刷不可）の上、試験当日に必ず持参してください。

※受験票印刷後、記載内容について必ず確認してください。「Web出願サイト」で登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合や、受験票の印刷可能日時になっても受験票が印刷できないようにならない場合は、至急本学入試センター宛に連絡してください。

※本学からの郵送は行いません。

※Web出願登録した際の受付番号と受験番号は異なりますので、ご注意ください。

【推奨するパソコン環境について】

・推奨するWebブラウザ

☞Microsoft Edge（互換表示非推奨）

☞Google Chrome 最新バージョン

☞Safari 最新バージョン

- ・複数のタブを開いた状態での操作はできません。
- ・スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、ブラウザの種類によっては正常に動作しない可能性があります。
- ・印刷をするための印刷機能を必要としますので、パソコンからのご利用をお勧めいたします。

【出願前の準備や確認】

- ・PDFを表示するにはアドビシステムズ社のAdobe Acrobat Readerが必要です。

【ブラウザ設定の注意点】

・Cookie（クッキー）

Web出願サイトでは登録情報を一時的に保存するために、Cookie（クッキー）という機能を使用しております。

必ずブラウザの設定を「Cookieを受け付ける（有効にする）」設定にしてください。これは、個人情報を持するものではないのでご安心ください。

・JavaScript（ジャバスクリプト）

登録の際の利便性を高めるために、JavaScriptという機能も使用しています。以下を参照し設定を有効にしてください。

《Edgeの場合》

○Cookieの有効化

Edgeの設定アイコン「…」(詳細) ボタンをクリックし、「設定」をクリックします。

「プライバシーとセキュリティ」をクリック⇒Cookieの項目を「Cookieをブロックしない」を選択します。

《Google Chromeの場合》

○Cookieの有効化

Google Chromeの設定アイコンchrome_settingをクリックし、「設定」をクリックします。

ページの下側で「詳細設定を表示」をクリック⇒「プライバシーとセキュリティ」セクションで「サイトの設定」をクリック⇒「Cookieとサイトデータ」をクリック⇒「ブロック中」の横に表示されるスイッチをオンにします。

○JavaScriptの有効化

Google Chromeの設定アイコンchrome_settingをクリックし、「設定」をクリックします。

ページの下側で「詳細設定を表示」をクリック⇒「プライバシーとセキュリティ」セクションで「サイトの設定」をクリック⇒「JavaScript」内の「ブロック中」の横に表示されるスイッチをオンにします。

《Safariの場合》

○Cookieの有効化

メニューバーの「Safari」をクリックし、「環境設定…」をクリック、「プライバシー」をクリックし、「Cookieをブロック」項目の「知らないサイトや広告のみ」にチェックします。

○JavaScriptの有効化

メニューバーの「Safari」をクリックし、「環境設定…」をクリック、画面上部の「セキュリティ」アイコンをクリック、「Webコンテンツ」の項目で「JavaScriptを有効にする」にチェックします。

【自宅にパソコンやプリンターがない場合】

- ・ご自宅以外のパソコンやプリンターを使ってご出願ください。
- ・ご自宅以外のプリンターを使用する場合、出願申込・入学検定料支払い完了後に再度インターネット・プリンターの整っている環境からマイページにログインし、印刷してください。

【出願時に登録するメールアドレスについて】

- ・出願時に登録頂くメールアドレス宛に出願登録完了の通知「出願登録案内メール」や入金確認の通知「支払完了メール」が送信されます。
- ・メール本文に含まれるリンクの画面は、パソコン上で開く必要があるのでパソコン用のメールアドレスを推奨します。なお、フリーメール（yahoo!やgoogleなど）のアドレスもご利用可能です。

※携帯電話のメールアドレスですと受信できない可能性があります。

【メールが届かない場合】

- ・登録したメールアドレスの入力間違いが考えられます。また、メール配信の回線経路やメールサービス側の負荷などにより、多少時間がかかることがあります。もしくは、受信テストのメールがウイルスメールや迷惑メールと判断され、通常の受信ボックスに届かずにご覧いただけないケースや、メール自体が届かない場合があります。他の受信フォルダを確認いただくか、ドメイン（@kunitachi.ac.jp）解除設定対応をお願いします。

【出願に際しての注意】

- ・出願資格を満たしていることを確認してください。
- ・出願書類が不備の場合には受理ができないことがありますので、十分注意してください。
- ・出願書類受付期間内に書類を送付してください。
- ・締切日は必ず募集要項等をご確認ください。
- ・郵送を忘れるとインターネット手続は無効になり出願したことになりませんのでご注意ください。
- ・出願書類及び入学検定料は、一切返還しません。

【出願の入力をいったん中断する場合】

- ・一度ブラウザを閉じた場合や入力をせず30分が経過した場合は、初めから出願登録をする必要がありますのでご注意ください。

【氏名や住所の漢字が入力できない場合】

- ・氏名や住所などの個人情報を入力する際に、漢字が入力できない場合は代替文字かカタカナで入力してください。

【出願内容を確認する場合】

- ・マイページの出願履歴、または入学志願票からご確認ください。

【出願登録後、入力内容の誤りに気付いた場合】

- ・入学検定料のお支払い前であれば、改めて初めから入力し直し、新たに発行された決済番号で入学検定料をお支払いください。
- ・入学検定料お支払い後の場合、ご自分で入力内容の変更はできません。
- ・個人情報の変更に関しては、入試センター（042-535-9536）までご連絡ください。
- ・入学検定料のお支払い後に、受験する入試、志望専攻（コース）、試験科目等の出願内容の変更はできません。

【出願書類の印刷方法について】

- ・入学志願票等をマイページからダウンロードし、印刷してください。この時「ページ処理」での、ページの拡大/縮小は「なし」、自動回転と中央配置にチェックを入れて印刷してください。「用紙に合わせる・大きいページを縮小」などとした場合、正式に受け付けられないことがあります。
- ・片面印刷にしてください。（両面印刷は不可）
- ・印刷の際には、以下の要件を満たす紙を使用してください。
 - ☞ 白い普通紙：普通紙にもメーカーによって固有の名前をつけているものがあり、「普通紙」という表示がないものがありますが、一般的には普通紙、PPC用紙、OA共用紙、コピー用紙などと表示されています。白色のものを使用してください。
 - ☞ 使用してはいけない紙：フォト用紙、マット紙、光沢紙、厚みのある用紙、色の付いた用紙、切り取りミシンの入った紙
 - ☞ A4サイズ：A4サイズとは、サイズが「210mm×297mm」のものです。文房具店、コンビニエンスストア等で購入してください。

【出願書類の提出方法について】

- ・出願書類の準備が整ったら、マイページより「宛名ラベル」を印刷し、市販の封筒（角形2号サイズ：240mm×332mm）に貼り付けて速達簡易書留またはレターパックプラスにてご郵送ください。
- ・A4サイズの書類は折り曲げずに封筒に入れてください。A3サイズの書類は2つ折りにして封筒に入れてください。

【入学検定料支払いに際しての注意】

- ・「コンビニエンスストア」、金融機関ATM「Pay-easy」もしくは「クレジットカード」でのお支払いが可能です。
- ・「コンビニエンスストア」、「Pay-easy」でお支払いに行くとき、持参するものは次の通りです。
 - ☞ 入学検定料（別途手数料が必要です）
 - ☞ 決済番号
 - ☞ 本人控え
- ・支払方法を選択後に画面に表示される「決済番号」をメモするか画面を印刷してください。（「本人控え」や「出願登録案内メール」でも確認できます。）
- ・入学検定料受付期限を過ぎてからの入金はありません。出願登録後、「出願登録案内メール」をチェックしお支払いください。なお、お支払いの際に、別途手数料及び消費税が掛かります。
- ・支払方法を選択したあとに、支払方法の変更はできません。変更したい場合、改めて初めから入力し直してください。
- ・領収書（レシート・バウチャー等）は大切に保管してください。出願書類に同封しないでください。

- レジに決済番号を持って行き支払うコンビニエンスストア

セブン-イレブン セイコーマート デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア

- 店内の端末を利用して支払うコンビニエンスストア

ローソン ミニストップ ファミリーマート

- 金融機関でペイジーマークの付いているATMで支払う

利用可能なATMは下記URLの「ATMでペイジーが使える金融機関を探す」からご確認ください。

<https://www.pay-easy.jp/where/>

【受験票について】

- ・受験票は郵送しません。マイページから各自A4サイズ of 用紙（コピー用紙可）にカラー印刷をしてください。

8. 試験科目表

専攻	コース	専門科目	共通科目
器楽	鍵盤楽器（ピアノ）	実技	(1)外国語 ※英、独、仏、伊の4言語のうち1言語を選択。 (2)下記から任意の1科目 ・音楽理論(和声) ・西洋音楽史
	鍵盤楽器（オルガン）		
	伴奏	実技 初見視奏	
	弦楽器	実技	
	管楽器	実技 初見視奏	
	打楽器	初見視奏	
音楽教育学		研究計画書提出 筆記 口述	(1)外国語 ※英、独、仏、伊の4言語のうち1言語を選択。 (2)下記から任意の1科目 ・音楽理論(和声) ・西洋音楽史 ・日本音楽史

注意事項

外国人留学生入学試験は、試験科目が一部異なるため、志願者は「16.外国人留学生志願者注意事項」（21ページ）を必ず確認すること。

9. 試験科目概要および試験課題曲目

(P.13注意事項も参照すること)

専 攻		試 験 科 目 概 要 お よ び 課 題 曲 目
器 楽	鍵盤楽器 (ピアノ)	<p>下記 (1) 及び (2) の両グループよりそれぞれ選曲し、合わせて30分程度のプログラムを提出の上、(1)、(2) の順に演奏する。</p> <p>(1) バロックから古典派までのピアノ独奏用作品。ただし、7分以上とする。</p> <p>(2) ロマン派以降のピアノ独奏用作品。</p>
	伴 奏	<p>下記 (1) 及び (2) の各グループより選曲したプログラムを提出の上、演奏する。ただし、(2) でBを選択した場合は、プログラムは(1) のみを提出する。</p> <p>(3) は当日指定。</p> <p>(1) 10分程度の任意のピアノ独奏用作品。</p> <p>(2) 下記 A, B, Cのいずれかを選択する。(A, Cは共演、Bはピアノ独奏)</p> <p>A. 声楽系① 10分から15分程度の任意の声楽作品。 (ピアノオリジナル伴奏作品)</p> <p>B. 声楽系② 以下の (a) 、(b) 、(c) を全て演奏すること。</p> <p>(a) W. A. Mozart: Le Nozze di Figaroより (Bärenreiter新全集) 第2幕 No. 11 Cavatina</p> <p>(b) G. Verdi: La Traviataより (Ricordi版) 第2幕 No. 7 Finale II 練習番号27より練習番号32の36小節目まで</p> <p>(c) G. Verdi: La Traviataより (Ricordi版) 第3幕 No. 8 Scena ed Aria 1小節目より40小節目まで ※オーケストラパート (ヴォーカルスコアのピアノパートで構わない) を演奏すること。 ※譜めくりは演奏者自身で行うこと。</p> <p>C. 器楽系 10分から15分程度の任意の器楽作品。 (ピアノオリジナル伴奏作品)</p> <p>(3) 初見視奏 平易なピアノ独奏用小品。予見 (3分)の上、視奏する。</p>
	<p>※鍵盤楽器 (ピアノ)コースと伴奏コース共通の注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鍵盤楽器 (ピアノ) コース、伴奏コース共に、各課題の中で同一の作曲家による複数の作品あるいは複数の作曲家による複数の作品の組み合わせも可。 2. ソナタの楽章や組曲の抜粋は可。その場合は、演奏する楽章、楽曲を「ピアノ受験曲目届」に明記すること。 3. 変奏曲の抜粋は不可。 4. 出版されている作品に限る。内部奏法を用いた作品は不可。 5. 繰り返し、及びダ・カーポは自由とする。 6. 鍵盤楽器 (ピアノ) コース (1) (2) 、及び伴奏コースの (1) は暗譜とするが、伴奏コースの (2) は暗譜の必要なし。 7. 時間の都合により、演奏をカットすることがある。 8. 伴奏コースの (2) のA, Cの共演者は出願者が依頼し、試験に同伴する。また、共演の楽器は、原則として共演者が持参すること。 9. 事前に試験曲の楽譜の提出を求める場合がある。 	
	鍵盤楽器 (オルガン)	<p>J.S.バッハ：トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV564</p> <p>注：楽譜を見てもよい。</p>

専 攻	試 験 科 目 概 要 お よ び 課 題 曲 目
弦 楽 器	<p>〔ヴァイオリン〕</p> <p>(1) パガニーニ：24の奇想曲から任意の1曲</p> <p>(2) ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品61 第1楽章（カデンツァ：ヨアヒム又はクライスラー） チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35 第1楽章 ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77 第1楽章（カデンツァ：ヨアヒム） メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 第1楽章 シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47 第1楽章 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第1番ニ長調作品19第1、第2楽章 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第2番ト短調作品63 第1楽章 バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 第1楽章 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番ト短調 作品26 第1楽章 (1)、(2)から各1曲の計2曲を演奏すること。</p> <p>〔ヴィオラ〕</p> <p>(1) ブラームス：ヴィオラ・ソナタ ヘ短調 作品120-1 (2) ブラームス：ヴィオラ・ソナタ 変ホ長調 作品120-2 (3) ヒンデミット：ヴィオラ・ソナタ ヘ長調 作品11-4 (1)～(3)のうち任意の1曲</p> <p>〔チェロ〕</p> <p>(1) J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV 1009 (2) J.ハイドン：チェロ協奏曲 ニ長調 作品101 (3) ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品104 (1)～(3)のうち任意の1曲</p> <p>〔コントラバス〕</p> <p>(1) クーセヴィツキー：コントラバス協奏曲 (2) ヴァンハル：コントラバス協奏曲 ニ長調 (3) ボッテシーニ：コントラバス協奏曲 第2番 ロ短調 (1)～(3)のうち任意の1曲</p> <p>〔ハープ〕</p> <p>(1) ①C.P.E.バッハ：ソナタの第1楽章 ②ヘンデル：協奏曲の第1楽章 (2) ①フォーレ：アンプロンプチュ ②シュボアー：ファンタジー op.35 ③ピエルネ：アンプロンプチュ カプリス ④ニーノ・ロータ：サラバンドとトッカータ ⑤ヒンデミット：ソナタ ⑥グランジャニー：ラブソディー (1)、(2)から各1曲の計2曲を演奏すること。</p>
管 楽 器	<p>〔フルート〕 ※(1)は暗譜、(2)の暗譜は任意とする。 次の演奏、および初見視奏。</p> <p>(1) モーツァルト：フルート協奏曲 ト長調 K. 313</p> <p>(2) ①ベリオ：セクエンツァ ②カルク・エラート：ソナタ“アパッショナータ”嬰ヘ短調 op.140 ③カルク・エラート：シャコンヌ op.107-30 ①～③のうち任意の1曲</p>

専 攻	試 験 科 目 概 要 お よ び 課 題 曲 目	
器 楽	管 楽 器	<p>以下の管楽器は、次の課題曲と自由曲（無伴奏曲も可）の2曲の演奏、および初見視奏。ただし、トランペットは次の課題曲2曲と自由曲（無伴奏曲も可）の3曲の演奏、および初見視奏。</p> <p>〔オ ー ボ エ〕※課題曲は暗譜、自由曲の暗譜は任意とする。 モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314</p> <p>〔クラリネット〕※(1)は暗譜、(2)および自由曲の暗譜は任意とする。 (1) モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622 (2) ドビュッシー：クラリネットのための第一狂詩曲 (1)、(2)のうち任意の1曲</p> <p>〔サクソフーン〕※暗譜は任意とする。 グラズノフ：サクソフーン協奏曲</p> <p>〔フ ァ ゴ ッ ト〕※(1)は暗譜、(2)および自由曲の暗譜は任意とする。 (1) モーツァルト：ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191 (2) ウェーバー：ファゴット協奏曲 ヘ長調 作品75 (1)、(2)のうち任意の1曲</p> <p>〔ホ ル ン〕※暗譜は任意とする。 (1) モーツァルト：ホルン協奏曲 第2番 変ホ長調 K. 417 (2) R.シュトラウス：ホルン協奏曲 第1番 変ホ長調 (3) ノイリンク：バガテル (1)～(3)のうち任意の1曲</p> <p>〔トランペット〕※暗譜は任意とする。 (1) J.ハイドン：トランペット協奏曲 変ホ長調 第1楽章（管は指定しない） (2) シャルリエ：36の超絶技巧練習曲より No.2 (B♭管を使用すること) (1)および(2)の2曲</p> <p>〔トロンボーン〕※暗譜は任意とする。 テナートロンボーンの場合 トマジ (Henri Tomasi)：トロンボーン協奏曲 バストロンボーンの場合 ネリベル (Vaclav Nelhybel)：バストロンボーン協奏曲</p> <p>〔ユーフォニアム〕※暗譜は任意とする。 J. ホロヴィッツ：協奏曲 (Novello)</p> <p>〔チ ュ ー バ〕※暗譜は任意とする。 R. ヴォーン・ウィリアムズ：チューバ協奏曲 (OXFORD UNIVERSITY PRESS)</p>
	打 楽 器	<p>次の(1)または(2)を選択して演奏、および初見視奏。※暗譜は任意とする。</p> <p>(1) ジョリヴェ：打楽器とオーケストラのための協奏曲</p> <p>(2) 次の①②を両方演奏すること。 ①クレストン：マリimbaとオーケストラのための協奏曲 ②ドゥレクリューズ：12のエチュード（小太鼓のための）より1</p>
音楽教育学		<p>(1) 研究計画書提出 研究テーマ、テーマ設定の理由、先行研究の要約、研究方法、研究のおおまかな見通しなど（A4版1～2枚：2,000字程度）※</p> <p>(2) 筆記試験 [90分] 音楽教育に関する「基礎的な知識・理解」および「思考力・判断力・表現力等」を問う記述問題</p> <p>(3) 口述試験 [約20分] 提出書類および筆記試験で記述した内容を中心とした口頭試問</p>
		<p>※研究計画書は出願期間内に入試センターへ提出すること。 郵送の場合は消印有効。</p>

各専攻共通科目	専攻により受験科目が異なるため、9ページの試験科目表を必ず確認すること。 [受験科目一覧] ・外国語〔60分〕※辞書1冊のみ持ち込み可（電子辞書は不可） ・音楽理論（和声）〔60分〕 ・西洋音楽史〔60分〕 ・日本音楽史〔60分〕
---------	--

注意事項

1. 器楽曲で楽章の指定がないものは、その曲の全楽章を演奏すること。ただし、試験当日に演奏楽章を指定したり、演奏を中断したりすることもある。
2. 演奏は暗譜で行うこと。（特に指示のある場合や、器楽専攻伴奏コースの課題曲（2）は除く。）
3. 伴奏はピアノ伴奏のみとし、伴奏者は出願者が同伴する。
4. 伴奏者や器楽専攻伴奏コースの共演者は、同入学試験の出願者でない者、他の出願者の伴奏者（共演者）でない者が望ましい。（試験日・時間が重なっても考慮はできない。）
5. 出願後、受験曲や志望する専攻の変更は認めない。
6. 指定された課題曲以外を演奏した場合は失格となるので、注意すること。
7. 受験曲の選曲に際して、不明な点がある場合は、早めに入試センターへ問い合わせること。

10. 試験実施期日（予定）および試験科目

月 日	専攻（コース）・試験科目	
2月16日(月)	器楽（管楽器／打楽器）	実技／初見視奏
	共通科目（外国語／音楽理論／音楽史）	
2月17日(火)	器楽（ピアノ／伴奏）	実技／初見視奏（伴奏のみ）
	器楽（弦楽器）	実技
	作曲（作品創作／音楽理論）	作曲／フーガ
	音楽教育学	筆記
2月18日(水)	音楽教育学	口述

※器楽（オルガン）の試験日程（実技）は出願後に通知します。（ただし上記日程内で行います。）

※留学生の面接は上記日程内のいずれかで行います。

試験場：国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

（注意）○試験日程詳細については、出願期間後に一斉メールでお送りする入試日程表（実施要項）に明記します。出願登録時に登録いただいたメールアドレス宛に送付します。万一届かない場合は入試センターまで照会してください。

○時間、試験場等に変更が生じた場合は、本部棟北側掲示板に掲示します。

11. 合格発表

期 日：2026年2月24日（火） 午前10時

マイページ内「合否照会サイト」において合否を発表いたします。

マイページへのリンクは出願登録案内／支払完了メールに記載されています。

（注意）○電話等による問い合わせには応じられません。

○合格者は、受験票を提示の上、合格証および入学手続上必要な書類を受け取ってください（受取は原則、平日のみ）。郵送を希望の場合は入試センターまであらかじめご相談ください。

12. 入学手続

2026年2月24日(火)～3月2日(月)の間に下記を提出(納入)してください。また、長期履修制度利用者の納入については、次の項目13.をご参照ください。

(1) 学費 (下記金額は2026年度のものです。) (単位:円)

費目区分	本学卒業生		他大学卒業生	
	1年次	2年次	1年次	2年次
入学金	150,000	—	300,000	—
授業履修費	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
施設設備費	280,000	280,000	280,000	280,000
維持運営費	150,000	150,000	150,000	150,000
合計	1,680,000	1,530,000	1,830,000	1,530,000

※2年次には同調会入会金20,000円が上記金額に加わります。(在学中1回のみ)
ただし、本学卒業生の方は除きます。

※学費は2回分納となります。

		本学卒業生	他大学卒業生
1年次	前期分(入学手続時)	915,000	1,065,000
	後期分(10月末日)	765,000	765,000

(2) 誓約書(保証人連署)

(3) 個人情報等の取扱いに関する同意書(保証人連署)

(注意) ①期日以内に手続きをしない場合は、棄権したものとみなし、入学を許可しません。

②上記提出物に加えて、別途提出が必要な書類があります。詳細は合格発表時にお知らせします。
新年度の日程等もその時に通知する予定です。

③入学手続きを完了した者が入学を辞退する場合は、返還申し込み期日〈2026年3月25日(水)〉までに、事由を明らかにして所定の手続きをしてください。既納の学費の内、入学金を除いた金額を返還します。手続きについての詳細は、入試センター(042-535-9536)までお問い合わせください。

なお、返還手続きの最終期限は2026年3月31日(火)ですが、新年度の授業運営準備のため、原則として2026年3月25日(水)までに手続きを行ってください。

13. 長期履修制度について

長期履修制度を希望される方は、下の各項を参照の上、出願時に所定の申請書のほか必要書類を提出してください。

(1) 主旨

本研究科の標準履修期間である2年を、原則2年分の学納金で、4年まで延長することができます。

※音楽教育学専攻に限ります。

(2) 対象者

次のア～ウのいずれかに該当する方。

ア 学校や会社等に勤務している方(非常勤、非正規雇用を含む。)

イ 介護等の家庭の事情で2年間での履修が困難な方

ウ その他、やむを得ない事情を有すると本研究科が認める方

(3) 認める修業年限

入学時より3年または4年。ただし、休学期間は算入されません。

(4) 提出書類

①長期履修制度申請書（所定用紙※）

※本学公式Web(<https://www.kunitachi.ac.jp/>)より所定用紙をダウンロードしてください。

TOPページ→入学案内→大学院 入学案内→修士課程〔追加募集〕ページ内

②在職証明書又は在職が確認できる書類（職業を理由に長期履修制度を申請する場合）

③事由を証明する書類

例：介護の場合、住民票＋要介護認定書の写しなど

④その他、本研究科が必要と認める書類

(5) 手続

①長期履修制度申請書等、必要な書類を出願書類と共に提出してください。

※この時点において申請書が提出されない場合は、長期履修制度を希望しないものとします。（出願後の申請は認めません。）

②入試期間中に面接審査を実施します。（日程は出願後に通知します。）

※なお、長期履修制度の利用と可否判定は無関係です。

③許可者発表

入試合格者発表時（2月24日）に個別にお知らせします。

(6) 学納金

入学金を除く授業履修費、施設設備費、維持運営費の標準修業年限（2年）分の額を、長期履修期間（3年または4年）で割った額を年度ごとに、納入していただきます。

詳細は経理課（042-535-9528）までお問い合わせください。

※割った際に、端数が出た場合は、初年度にその端数を合算して納入していただきます。

※入学金は初年度に納入していただきます。

14. 教育課程の概要

1. 専攻における充実したレッスン等の個人指導はもとより、専門に関わる少人数のさまざまな専門研究、専門演習といった科目によって、プロフェッショナルな演奏、創作の追求ができます。
2. 声楽専攻・器楽専攻・作曲専攻では、「研究法Ⅰ」「研究法Ⅱ」「研究法Ⅲ」が開講され、課題研究報告の作成に取り組みます。（作曲専攻（作品創作コース）は「研究法Ⅰ」「研究法Ⅱ」までの開講）
3. ユニークな授業は「テーマ別演習」です。ここでは専攻領域を横断する多様なテーマに応じた重点的な研究を行います。
この「テーマ別演習」は2年間を目途に研究を推進し、その後随時新たな研究テーマが加えられる予定です。

○共通科目

必修	研究法ⅠⅡⅢ(声楽・器楽・作曲専攻（作品創作コースは、研究法ⅠⅡ）のみ)、テーマ別演習AⅠⅡ・BⅠⅡ
選択	エディション研究AB、指導法、プロジェクトAⅠⅡ・BⅠⅡ

○他専攻分野履修可能科目

選択	作品研究（器楽）ⅠⅡ、チェンバロ演習、原典講読（鍵盤楽器）ⅠⅡ、ピアノ教育研究ⅠⅡ、音楽テクノロジーⅠⅡ、スコア・リーディングⅠⅡ、フーガ実習ⅠⅡ、和声実習ⅠⅡ、古典対位法ⅠⅡ、原典講読（作曲）ⅠⅡ、楽曲分析ⅠⅡ、ソルフェージュ特殊研究ⅠⅡ、作曲家作品研究ⅠⅡ、ライブ・エレクトロニクス実習、Research in EnglishⅠⅡ、音楽学研究法Ⅰ～Ⅳ、音楽美学研究AB、音楽民族学研究AB、西洋音楽史研究AB、アジア音楽史研究AB、日本音楽史研究AB、楽器学研究AB、楽器音響学研究AB、演奏科学研究ⅠⅡ、音楽教育内容論AB、音楽教育方法論AB、音楽教育実践演習AB、音楽教育教材研究AB
----	--

○修了要件外科目

器楽専攻 （鍵盤楽器コース）	器楽系伴奏研究Ⅰ～Ⅳ、声楽系伴奏研究（歌曲）／（コレペティツィオン）Ⅰ～Ⅳ
器楽専攻 （伴奏コース）	器楽系伴奏研究Ⅰ～Ⅳ、声楽系伴奏研究（歌曲）／（コレペティツィオン）Ⅰ～Ⅳ 鍵盤楽器ソロ研究AⅠⅡ・BⅠⅡ
器楽専攻 （弦管打コース）	オーケストラA～D

〈注意〉上記以外にも、修了要件外ではあるが、一部の学部科目（選択外国語科目、学部聴講科目等）の履修を認める。科目履修費を別途納める必要はない。

○各専攻必修科目を含め30単位以上を修得しなければならない。

○年度により開講されない科目がある。

以下（次ページ以降含む）のカリキュラム表は、2025年度入学生対象のものです。変更の可能性もあります。

〈器楽専攻(鍵盤楽器コース)〉

	1 年次	2 年次
必修科目	器楽（鍵盤楽器）演習Ⅰ～Ⅳ（個人レッスン）	
	鍵盤楽器ソロ研究AⅠ・AⅡ	鍵盤楽器ソロ研究BⅠ・BⅡ （オルガンのみ）
	ピアノ協奏曲研究Ⅰ・Ⅱ（ピアノのみ）	
	室内楽演習Ⅰ・Ⅱ	
	作品研究（器楽）Ⅰ・Ⅱ	
		中間発表会
		修了演奏
	研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（課題研究指導）	
	（第一回研究計画提出）	（第二回研究計画提出）
		研究報告提出
選択科目	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
	室内楽演習Ⅲ・Ⅳ	
	チェンバロ演習、原典講読（鍵盤楽器）Ⅰ・Ⅱ、ピアノ教育研究Ⅰ・Ⅱ、 器楽（鍵盤楽器）特殊講義A・B	
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
	他専攻分野履修可能科目	
		鍵盤楽器ソロ研究BⅠ・BⅡ （ピアノのみ）

〈器楽専攻(伴奏コース)〉

		1 年次	2 年次
必修科目		器楽（鍵盤楽器）演習Ⅰ～Ⅳ（個人レッスン）	
		器楽系伴奏研究Ⅰ～Ⅳ	
		声楽系伴奏研究（歌曲）Ⅰ～Ⅳ 声楽系伴奏研究（コレペティツィオン）Ⅰ～Ⅳ （声楽系の学生はいずれかを選択必修）	
		室内楽演習Ⅰ・Ⅱ	
		作品研究（器楽）Ⅰ・Ⅱ	
			中間発表会
			修了演奏
		研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（課題研究指導）	
		（第一回研究計画提出）	（第二回研究計画提出）
			研究報告提出
選択科目		テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
		室内楽演習Ⅲ・Ⅳ	
		チェンバロ演習、原典講読（鍵盤楽器）Ⅰ・Ⅱ、ピアノ教育研究Ⅰ・Ⅱ、器楽（鍵盤楽器）特殊講義A・B	
		エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
		他専攻分野履修可能科目	

〈器楽専攻(弦管打楽器コース)〉

		1 年次	2 年次
必修科目		器楽（弦管打）演習Ⅰ～Ⅳ（個人レッスン）	
		弦管打研究（レパートリー研究）Ⅰ～Ⅳ	
		室内楽演習Ⅰ・Ⅱ	
		作品研究（器楽）Ⅰ・Ⅱ	
			中間発表会
			修了演奏
		研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（課題研究指導）	
		（第一回研究計画提出）	（第二回研究計画提出）
			研究報告提出
		テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
選択科目			室内楽演習Ⅲ・Ⅳ
		器楽（弦管打）特殊講義A・B	
		エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
		他専攻分野履修可能科目	

〈音楽教育学専攻〉

	1 年次	2 年次
必修科目	音楽教育学研究Ⅰ～Ⅳ（個人指導）	
	音楽教育研究法Ⅰ～Ⅳ	
	（第一回論文題目提出）	（第二回論文題目提出）
	修士論文提出	
	テーマ別演習AⅠ・AⅡ	テーマ別演習BⅠ・BⅡ
選択科目	音楽教育内容論A・B、音楽教育方法論A・B、音楽教育実践演習A・B、 音楽教育教材研究A・B、音楽教育学特殊講義A・B、 音楽教育実践特殊講義A・B	
	エディション研究A・B、指導法、プロジェクトAⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ	
	他専攻分野履修可能科目	

15. 学位および資格

- 修了者には、修士（音楽）の学位を授与する。
- 高等学校教諭一種免許状（音楽）または中学校教諭一種免許状（音楽）取得者（取得資格のある者を含む）で、教科及び教科の指導法に関する科目を24単位以上修得し、修士課程を修了した者（修了見込者を含む）は、修了時に高等学校教諭専修免許状（音楽）または中学校教諭専修免許状（音楽）取得の申請ができる。
- 音楽学専攻（音楽療法コース）の者が、所定の科目を修得することで認定音楽療法士の受験資格を取得できる。

16. 外国人留学生志願者注意事項

（1）出願要件（出願資格）

1. 入学時までに入出国管理および難民認定法による「留学」の在留資格を有する者。ただし、「永住者」を除く。
2. 2 ページ「5.応募資格」（1）～（6）のいずれかに該当すること。
3. 確実な身元保証人がいること。身元保証人は、日本国内に居住し、一家計を立てる成年者で、志願者の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者であること。
4. 日本留学試験（EJU）（日本語）または日本語能力試験（JLPT）を受験しており、日本語能力試験（JLPT）については、N2以上合格を条件とする。

（2）提出に関する注意

外国人留学生志願者は、2026年度国立音楽大学大学院音楽研究科（修士課程〔追加募集〕）の受験に際し、下記の書類を提出すること。「本学所定用紙」は本学Webサイト〔入学案内＞大学院 入学案内＞修士課程〔追加募集〕（外国人留学生入試）〕からダウンロードしてください。

その際、出願書類の氏名・生年月日は、必ず旅券（パスポート）に記載されているものと同一にしてください。異なる場合は、出願書類として認めません。

1. 志 願 票

入学検定料の決済後、「Web出願サイト」のマイページより印刷する。必ずカラープリンターで印刷すること。（白黒印刷不可）

2. 成績証明書

最終学校の在学全期間の成績証明書 ※日本語以外による証明の場合は日本語訳を添付する。

3. 卒業（見込）証明書

卒業証明書が提出できないときは、卒業証書原本の写しを提出する。
※日本語以外による証明の場合は日本語訳を添付する。

4. 推薦書（書式自由）

出身学校長、または出身学校の指導教員が作成したもの（出身学校は、大学学部相当であること）。
※日本語以外による証明の場合は日本語訳を添付する。

5. 日本語試験関係書類

次の①または②のうちいずれか1つ ※1回分のみ提出すること。

①日本留学試験（EJU）（日本語）の「受験票」の写し

※提出可能なものは、2024年4月以降実施分のみとする。

②日本語能力試験（JLPT）の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

※N2以上合格のものとする。

※取得年度は問わない。また、写しではなく、原本を提出すること。

日本語能力試験（JLPT）については、原則、当該年度の第1回試験までにN2以上に合格している方を前提としていますが、当該年度の第2回試験を受験する等の理由により出願時に「日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書」を提出できない場合には、必ず事前に入試センター（nyugaku@kunitachi.ac.jp）へメールにて相談してください。

6. ピアノ受験曲目届（本学所定用紙）
※器楽専攻鍵盤楽器（ピアノ）コースと伴奏コース受験者のみ提出
7. 弦管打楽器受験曲目届（本学所定用紙）
※器楽専攻（弦楽器・管楽器・打楽器）コース受験者のみ提出
8. 身元保証書（本学所定用紙）
保証人は日本に居住している者で、**試験期間中・在学中**の身元および経費の一切について保証できる者。
なお、身元保証人の保証能力を示す資料の提出を求めることがある。
また、保証人が在日外国人の場合は、その者の在留カードの写し（両面）を添付する。
9. 在留カードの写し（両面）
10. 入国査証の写し
出願時に有している場合のみ提出
11. 旅券（パスポート）身分事項ページの写し
12. 外国人志願者調書（本学所定用紙）

（3）出願及び受験に関する注意

1. 外国から出願する者は、できるだけ早めにWeb出願登録を行い、出願書類は余裕を持って発送すること。なお、書類は追跡可能な方法で郵送すること。
2. 入学検定料の支払いにかかるすべての手数料は本人負担とし、手数料を除いて日本円で50,000円となるように支払うこと。
3. 受験の際、在留カードを持参すること。

（4）試験科目〔10～14ページ「9.試験科目概要および試験課題曲目」参照〕

専攻		試験	専攻試験	共通科目 ※2	面接	日本語試験
器楽	鍵盤楽器		2026年度一般入試課題	下記から任意の1科目 ・音楽理論（和声） ・西洋音楽史	実施	※3
	弦管打楽器		2026年度一般入試課題 （打楽器は初見視奏含む）		実施	※3
音楽教育学			●論文（事前提出）※1 ●小論文（研究計画について日本語で記述） ●口述試験（小論文に基づく）	—	—	※3

※1 専門的テーマによる論文。日本語または英語で提出すること。日本語の場合は12,000字程度、英語の場合は5,000語程度とする。要旨を添付すること。

音楽教育学専攻の論文は、出願期間内に入試センターに提出すること。（郵送の場合は消印有効）

※2 外国人志願者は、共通科目の外国語試験は受験不要。

※3 日本語試験は、日本留学試験または日本語能力試験の成績により判定を行う。

(5) 試験日程

面接以外の試験については一般入試と同一とし、面接試験の日程・時間については出願後に連絡をする。

(6) 合格後に関する注意

授業開始後一週間を過ぎても来学しない場合は入学を取り消す。

17. 教 員 組 織

大学院入学後は下表より指導教員を選び、その指導を受けることになります。なお、この一覧に記載されていない非常勤講師等の指導を希望する場合は、入学手続き時に別途ご相談ください。

2026年度 大学院担当教員一覧（予定）

専攻	分 野	教 員 名
声 楽		教 授 加 納 悦 子
		” 久 保 田 真 澄
		” 黒 田 恵 博
		” 澤 畑 恵 美
		” 長 島 剛 子
		” 福 井 阿 佐 子
		” 本 島 下 浩 司
		准教授 清 水 華 澄
		” 成 田 博 之
		” 平 井 香 織
		” 松 原 月 奈 也
		客員教授 望 高 橋 薫 子
		” 森 高 橋 麻 季
		非常勤講師 石 上 美 美
		” 白 木 あ い
		” 悦 田 比 呂 子
		” 塩 田 美 奈 子
		” 須 藤 慎 吾 子
器 楽	ピ ア ノ	” 武 藤 朋 子
		” 盛 田 玲 南 央
		” 矢 田 部 弘 巧
		” 与 儀
		教 授 江 澤 聖 子
		” 金 子 忠 恵 之
		” 河 原 藤 郁 子
		” 進 藤 尾 夕 美
		” 瀨 堀 江 志 磨
		准教授 遠 藤 志 葉
		” 沢 田 千 秋
		” 奈 良 希 愛 介
		” 新 山 納 の り 子
		” 梅 本 実 子
		特任教授 近 藤 伸 子
		” 久 元 祐 子
		” 三 木 香 代
		非常勤講師 有 森 直 樹
器 楽	オルガン	” 出 久 根 美 由 樹
		” 榎 本 知 也
		” 岡 本 隆 哉
		” 佐 野 悠 一 郎
		” 田 中 健 治
		” 前 村 上 千 佳
		” 青 田 絹 江 岳
		非常勤講師 近 藤 藤 岳
		教 授 青 木 高 志
		” 漆 原 啓 子
		特任教授 永 峰 高 志
		” 藤 未 高 定
		客員教授 池 森 亮 一 宏
		” 早 川 里 さ 子
		非常勤講師 早 川 里 さ 子
		” 早 川 里 さ 子
		” 早 川 里 さ 子
		” 早 川 里 さ 子

専攻	分 野	教 員 名
器 楽	フルート	准教授 菅 井 春 恵
		” 高 橋 聖 純
		客員教授 佐 久 間 由 美 子
		特任講師 名 雪 裕 伸
		非常勤講師 斎 藤 和 志 功
		特任教授 辻 子 亜 未 彦
		非常勤講師 金 和 田 智 隆
		准教授 大 伊 寛 寛
		客員教授 伊 藤 寛 寛
		非常勤講師 エマニュエル・ヌヴェー
		教 授 田 中 靖 人
		特任教授 雲 井 未 雅 定
		” 井 手 朗 彦
		” 井 川 明 彦
		” 岸 良 開 城
		非常勤講師 青 木 京 平
		” 安 東 藤 充
		” 齋 田 幸 広
		” 池 近 藤 陽 一 彦
器 楽	打 楽 器	教 授 幸 西 秀 彦
		非常勤講師 植 松 透 子
		” 神 谷 百 慎 子
		” 塚 越 子 子
作 曲	曲	教 授 今 村 央 子
		” 菊 池 幸 夫
		” 栗 山 和 樹
		准教授 足 本 憲 治
		” 今 井 慎 太 郎
		” 片 桐 健 順
		” 桑 原 峻 行
		” 濱 野 貴 晴 美
		” 富 貴 辺 俊 哉
		” 渡 市 川 景 道
		客員教授 北 爪 裕 道
		非常勤講師 台 林 達 也
		” 平 山 晴 花
音 楽 学	音 楽 学	教 授 岡 崎 香 奈
		” 神 部 田 智 子
		” 早 稲 田 文 子
		准教授 瀬 尾 文 花
		” 塚 田 朱 美
		” 中 島 美 保
		” 前 三 浦 展 子
		” 三 宮 雅 博
		非常勤講師 瀧 川 淳 子
音 楽 教 育 学	音 楽 教 育 学	教 授 瀧 川 淳 子
		” 津 田 正 之
		” 八 幡 真 由 美
		准教授 伊 藤 仁 美

国立音楽大学大学院音楽研究科(修士課程)

2026年度

学 生 募 集 要 項

追加募集

2025年12月発行

国立音楽大学